大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成２８年度　学校通信

平成２９年１月１６日
No.３３

謹賀新年
今年もよろしくお願いいたします

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

穏やかな三が日を終え、４日から西仙北中学校も平成29年をスタートさせました。まずは久しぶりの雪に、生徒は玄関前の雪寄せをしてくれました。ありがとうございます。また、３年生は学習相談を、各部も練習を再開しました。

平成２９年が、皆様にとりまして、輝く年となりますことをご祈念申し上げます。

収納・伝達　たくさんの活躍！

12月22日は、冬休み前の最終登校日で、これまでに紹介してきたたくさんの活躍の報告・表彰がありました。

美郷町新人駅伝競走大会男子５位入賞、第62回青少年読書感想文全国コンクール大曲仙北審査及び秋田県地方審査入賞・入選、第67回秋田県統計グラフコンクー及び全国コンクール入賞・入選、第12回桜カップ男子バスケットボール大会第４位、第17回秋田県中学校秋季バドミントン大会男子団体２位、女子団体２位、女子個人戦ダブルス３位、第66回“社会を明るくする運動”作文コンテスト入賞、第11回大仙市民俳句大会入賞、人権に関する作品コンクール入賞、平成28年度中学生の「税についての作文」入賞です。

入賞・入選に自分が驚いたという感想発表がありましたが、人に認められることによって気付く自分の才能もあります。自分の特性やよさを発見し、さらに伸ばしていく意味でも、生徒の皆さんには、今後もいろいろなことに挑戦してほしいと思います。入選・入賞おめでとうございます。

2年渡邊さん　人権作文　協議会長賞

２年生の渡邊真歩華さんが、「人権標語・作文コンテスト」において、大曲人権擁護委員協議会長賞を受賞し、12月19日に本校校長室で、佐々木人権擁護委員から表彰していただきました。

渡邊さんの作品は、「あの日のことを忘れない」という題名の作文です。あるお店での接客態度を見たことから、日頃の自分の生活を振り返り、「人にされて嫌なことは人にしない」ということを踏まえ、人が嫌な思いをしたり苦しい思いをしたり

することがないように、正しい判断のもと、行動できる人になりたいと結ばれていました。ちょっとした生活の一場面から人としての在り方を考えた深い内容の作文でした。渡邊さん、受賞おめでとうございます。この気持ちを皆にも広め、西仙北中学校、西仙北地域等が思いやりの心が溢れる地域になることを願います。

12/24　吹奏楽部“クリスマスコンサート”

冬休みに入った24日、１・２年生14名の吹奏楽部が、“クリスマスコンサートを西仙北中央公民館で行いました。３年生が引退して、新たなスタートを切った吹奏楽部の初めてのコンサートでした。11月の定期演奏から、わずかな練習時間しかなか

ったにもかかわらず、14名の部員がすばらしい演奏を披露してくれました。

第１部はオリジナル＆クラシックとして、「フレール・ジャックのファンタジー」と「『アルルの女』第２組曲より“パストラール”“ファランドール”」の２曲の演奏でした。第２部はお楽しみコーナーでしたが、これまでの吹奏楽部のコーナーとは一味変え、音楽絵芝居「美女と野獣」でした。そして、第３部はクリスマスをテーマに「スター・ファンタジー」「クリスマスソング（back number）」「アメージング・グレーズ」「クリスマス・ソング・メドレー」が演奏されました。

クリスマスイブにふさわしい心温まるコンサートとなりました。吹奏楽部の皆さん、お疲れ様でした。すてきな演奏、ありがとうございました。お手伝いの３年生の皆さんもお疲れ様でした。また、ご来場くださった皆様にも、深く感謝申し上げます。今後とも、吹奏楽部を応援くださるようお願い申し上げます。

東北バド女子ダブルス　１回戦突破！

12月26日から28日まで青森県黒石市で行われた「第９回東北中学校バドミントン選手権大会」に、県予選を経て、本校バドミントン部も出場しました。大会初日に行われた女子個人戦ダブルスに出場した佐藤・武藤ペアは、見事１回戦を突破しました。続く２回戦では山形県の優勝ペアと対戦、内容のある善戦健闘でした、と報告がありました。東北大会での１勝は画期的です。おめでとうございます。

二日目は、男子団体戦、女子団体戦に本校が出場しました。男子は、１回戦で惜しくも敗れてしまいましたが、女子は郡山第一中学校と対戦し、２―１で勝利することができました。前日の個人戦ダブルスにつぐ快挙です。春に向け大きな成長を期待します。ますます頑張れバドミントン部！

しなやかな強さ

冬休み中に読んだある本に、次のような詩がありました。小学校３年男子児童の作品です。

「つよさ」
つよいってことは
まけないことじゃない
つよいってことは
なかないってことじゃない
つよいってことは
まけてもあきらめないこと
つよいってことは
ないても
またわらえること

（青い窓の会編著「おひさまのしずく　福島の子どもたちから届いた大切な言葉」ＷＡＶＥ出版、2013年より）

本校にもいろいろな克服すべき課題があります。また、生徒も毎日成長していく中で、克服すべき課題に出合います。保護者やご家族の方々も然りと思います。

生徒たちには、この詩のように「しなやかな強さ」をもって、自分の夢や憧れの実現に向かってほしいと思います。もちろん、学校はそのような生徒を育める場でありたいと思っております。ご支援くださるようお願いいたします。

卒業生インターンシップ

１月４日から６日まで、本校卒業生で角館高校２年生の齋藤さんが、インターンシップとして３日間、本校で活動しました。齋藤さんは、３年生の学習相談において、指導の先生方のお手伝いをしたり、生徒たちに直接勉強を教えてくれたりしました。また、部活動の指導においても、生徒たちと一緒にプレーしながら積極的に指導に当たってくれました。

「今回の体験は、生徒を見る教師の立場で自分を振り返るということができ、不思議な感覚がありました。改めて先生方をかっこよく思えました。次は教育実習で母校を訪れたいと思います。」と、最後に感想を述べてくれました。

齋藤さんは、あいさつもよく、清潔感があり、何よりも、いつも笑顔で生徒や職員と接する姿が好印象でした。さすが、本校の卒業生です。後輩が憧れる先輩として、ますますのご活躍を期待します。

３日間、お疲れ様でした。また、ありがとうございました。この後も、いつでも、母校を訪問してください。